

令和7年度 広幡こども園 教育活動等に対する学校評価書

令和 8年 2月

1 こども園の教育目標 つよく あかるく やさしい子

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・強い身体をつくる
- ・社会性を育む
- ・創造力・発想力・思考力を育む
- ・非認知能力を育てる

2 本年度の重点目標

『夢中になって遊ぶ子』

- 0歳児：心地よく過ごす
- 1歳児：周囲に興味や関心を持って遊ぶ
- 2歳児：意欲的に遊びを楽しむ
- 満3歳児：保育者との安定した関りの中で簡単な身のまわりのことを自分でしようとする
- 3歳児：友だちと楽しく遊ぶ
- 4歳児：遊びに喜んで取り組む。友だちと一緒に楽しく活動する
- 5歳児：進んで活動に取り組む最後までやり通す。感じたこと考えたことを表現する

評価基準

4(はい、そう思う)・3(大体当てはまる)・2(あまり当てはまらない)・1(いいえ、そう思わない)・0(担当外・無回答)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会
		評価点 <small>(昨年との増減)</small>	こども園としての反省と改善策	ご意見
1 保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.17 (+0.22)	誕生会で園長が園児に話しているのを聞いて意味を知った「つよく、あかるく、やさしい子」この本園の教育理念を今後も大切にしていきたい	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が教育理念、教育方針、教育要領を理解することについて、一人一人の子供に接する上で大変重要なことだと考えますが、様々な職員がいる中で難しさもあると思われます。昨年度より評価点が向上している状況は大変素晴らしいと思います。 また、職員の入れ替わりのある年度当初に、再度、全教職員で共有することも重要かと思えます。 ・保育と教育を一体的に行う幼稚園と保育所の両方の良さを併せてもつ施設として日々の円滑運営の御苦労を感じます。そんな中職員一人一人が施設としての教育目標に向けて同じ方向で進もうとする姿は大切な事です。引き続き皆さんの取組に期待します。 ・教育方針や理念等、明文化されたものの掲示物が来園者の目に触れられればより一層の信頼が寄せられると思います。 ・今後もチャレンジすることの大切さやチャレンジへの支援をお願いします。
	②こども園教育要領を理解していると思う	2.92 (+0.21)	こども園での保育幼児教育の根幹をなす大切なものなので日々理解に努めている。今後も園内研修等で学び合い高めていきたい	
	③園の教育課程を元に保育の計画を立てている	3.30 (+0.16)	毎月の各学年の月案は園の教育課程を参考に立て立案している。今後は小学校、中学校、保育園との架け橋プログラムも始まることから様々な要素を盛り込んだ計画を考えていきたい	
	④指導計画は教育要領・教育課程・子どもの実態などをベースに考え作成している	3.38 (+0.06)	クラス担任による個人記録を基に子供達一人一人の家庭環境の違いなども考慮し歳児ごとに計画立案している	
	⑤子どもの生活や動き・思いを大切にしている環境構成を工夫している	3.31 (-0.02)	「できるかな、できないかもしれない」「でも、やってみよう」と子供達の揺れる気持ちに寄り添いそっと後押しできるような環境を大切にしている。また、「言葉は手渡すように」と職員全員が共通理解しつつある	
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との接続を意識している	2.90 (+0.14)	隣接する小学校の先生方が10名以上来園され保育を参観されるなど、乳幼児の保育教育に触れる機会をもっていた。園からも職員を小学校へ参観する機会を作っていた。就学までに園でどうすることが良いのかを検討していきたい	
2 保育の在り方・子どもの環境への対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないか確かめる	3.64 (-0.16)	視診だけでなく触診や顔の表情からの情報を読み取りいつもと違うようであれば看護師と一緒に考え早めに保護者に情報を伝えることに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時における子供の体調等の確認について、大変高い評価となっており、また、安全配慮について、保護者アンケート14にも98%と高評価となっています。園全体で安全面について高い意識をもって対応している表れだと感じます。看護師常勤2人体制ということからも安全意識の高さを感じます。ただ、「あまりあてはまらない」とした保護者1名の理由を確認し、今後に活かしていきたいです。 ・子供達それぞれに得手不得手があると思います。言葉として発せる子、不得手な子、表情に出る子、出ない子様々だと思います。ほんの些細な様子の变化に隠れている大切なことがあるかもしれません。後になってあの時こうすれば、こうしていればということのないように子供達が安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいただきたい。 ・子供達一人一人の心身のケアを大切に考えていることが良く理解できます。心の栄養をこれからも大切にしてください。 ・多彩な活動が計画展開され子供達にとって園での生活が楽しいものになっていると思われます。 ・いつも園児一人一人に寄り添った対応、支援をいただきありがとうございます。保護者として全学年で行う行事などを参観できる機会がもっとであると嬉しいです。
	②一人一人の思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	3.56 (-0.07)	思いや考えを伝えられない子に寄り添う姿や「やりたい」「できた」「うれしい」「さびしい」「かなしい」等この歳児の子ならではのストレートな気持ちを敏感にキャッチできるように日々アンテナを磨く努力を怠らないように努めている	
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、子どもの自主性・自発性を大切にしている	3.28 (+0.14)	子供達がどんなことをしたいのか今の遊びのトレンドは何かを意識し毎日必ず子供達が熱中できる時間や身体を思いっきり使って楽しむ時間を保証している	
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	3.10 (-0.16)	乳児部、幼児部との交流を意識し今年度より幼児の行事に2歳児の子供達も参加する計画を立て実行した。始業式、終業式では幼児部のお兄さんお姉さんの返事を聞いたことで真似をして大きな声で返事をする姿も見られた	
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	3.15 (+0.15)	幼児、乳児の園内研修では両方の研修に可能な限り参加し事後研修ではケース会議も兼ねて行ってきたことで支援の必要な子への理解や悩む担任へのアドバイスも行ってきた	
3 保育者としての成長	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	3.19 (+0.09)	まずは子供の話を聞く事や保護者の悩みに真摯に耳を傾けることを意識してきた。話す前に聞くことを意識したことでよりピンポイントに話すことができたように思う	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの話、保護者の悩みを聞くことに力を入れていること、素晴らしい取り組みだと感じます。 ・教材だけでなく身につくものではないでしょうか。大変ですが時間を費やして下さい。

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会
		評価点 (昨年との増減)	こども園としての反省と改善策	ご意見
3 保育者としての能力や良識・適正	②子どもや、保護者との対応には、公平さをかかせないようにする	3.67 (+0.06)	子供達には公平であることを常に意識して接している保護者対応も同様に気を付けている	<p>・今回だけでなく、運動会や発表会での様子を参観させていただき、先生方のあいさつ、笑顔、振る舞い、職員間の関係等、大変良いと感じます。職員内の雰囲気も明るい感じがして、それが保護者アンケート12の回答4(84%→89%)に結果として反映されているのではないのでしょうか。</p> <p>・すべての項目で昨年の評価を上回っており評価されます。人間だれも褒められることは喜ばしいことです。子供の様子、成長、行動などちよつとしたことでも一緒に喜び評価することで、その子はもっと成長できると思います。併せて子供と保育者との豊かなコミュニケーションも育まれていくものと思います。これからも子供達と良い環境が得られる取組をお願いします。</p> <p>・全ての職員の方が子供の名前を覚えてくださるのには素晴らしいことですし、子供の安心にも繋がると思います。</p>
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気を付けている	3.58 (+0.04)	早寝早起き適度な運動など職員から子供に感染症などの病気を移すことがないように気を付けている	
	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3.41 (+0.09)	明るく笑いのある職場であり特に今年は乳児、幼児が一体となって行事の準備を行うなどチーム力も向上していると感じている	
	⑤子どものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	3.84 (+0.06)	園で働く全ての職員が子供に関わっているように感じる 時に困ることも多々あるが子供達の笑い声や笑顔に癒され明日への活力となっている	
	⑥こども園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	3.24 (+0.01)	女性初の総理大臣の誕生や台湾有事、地球の温暖化や台風、地震など子供にも分かり易く話せるようにアンテナを高くしている	
	①子どもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	3.52 (-0.35)	怪我や発熱などにはレスポンスの良い対応に努めている子供同士のトラブルによる怪我に関しては職員会でも共通理解を図ってきた通院に至るケースでは双方の保護者にお詫びと状況を報告させていただくことになっている	
4 保護者への対応	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3.41 (+0.04)	保護者からのクレームには真摯に耳を傾け丁寧な対応を行い園のホームページにて内容も公開している	<p>・保護者アンケートや自己評価からも、保護者に対し、大変丁寧に対応していることがわかります。それにより、園の信頼を高めていると感じます。</p> <p>・リスク管理は大変ですね。クレーム処理も即日の対応に追われたりします。職員の方々のストレスも大切にしたいです。</p> <p>・世の中の変化と共に保護者の就労状況も様々となり日々その対応に御苦労されていると思います。</p> <p>・こども園の保護者アンケートの中の園の取組、教職員の対応項目はいずれも70後半から80%以上の評価結果が得られていますので引き続き職員の皆様が勇気と自信を持って対応していただけたらと思います。</p>
	③園児や保護者の個人情報管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	3.76 (-0.04)	年度の初めには全職員に園の「個人情報管理規程」を一読してもらい情報の取扱いの重要性を理解してもらっている	
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡報告相談をする	3.51 (-0.12)	保護者からのご意見ご要望に関しては必ず主幹、園長に報告相談し即日に回答している	
	①園へ見学に来た人に園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	2.69 (+0.06)	園の教育理念「つよく あかるく やさしい子」は答えられるように心掛けている 内容についても話せるよう理解に努めていく	
5 地域の自然や社会との関わり	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関について理解している	2.76 (+0.16)	子供達にとって利便性のある施設かどうか実際に足を運ぶ機会を持つようにしている	<p>・やまめのつかみ取り、園庭の芝生化、絵本作家むらまつ けーじ氏による読書への取り組みなど、外部の材を適切に活用して、重点目標に迫る子供を育成しようとしていることが感じられます。</p> <p>・外部との交流や地域での活動の機会は限られており、更なる活動の活発化は難しいと思いますが、広幡地区は従来より保育園、幼稚園、小学校、中学校が連携して地域の活動に積極的に関わってくれていますので引き続きの活動を期待しています。</p>
	③地域開放や子育て支援について、具体的な形や内容を理解している	2.67 (+0.09)	保護者の負担軽減や育児の悩みに寄り添う場であると捉えている	
	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.31 (-0.25)	職員会での情報共有を行っているが危険度によっては朝礼や緊急打ち合わせを行うことで同様な事故が起こらないように心掛けている	
6 安心と安全	②安全点検、検査、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.51 (+0.03)	常に本番を意識して訓練に参加している 今後は隣接する小学校との合同引き渡し訓練も行ってきたい	<p>・園の運営で、安全面への対応がすべての活動の土台となります。保護者アンケート10からも自己評価からもそれが適切にできていることがわかり素晴らしいと思います。</p> <p>・安全、安心に上限はありません。日々職員全員が意識を高く子供達の安全、施設の安全を保持し安心できるこども園の運営に取り組んでいただきたい。</p> <p>・避難訓練などは子供達にすぐく浸透しておりすごいと感じています。</p>
	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	3.31 (+0.15)	本年度も職員が様々な研修に参加したなかでも宿泊を伴うが東海北陸地区私立幼稚園教育研究大会にも毎年2名の職員を派遣し質の向上に努めている	
7 研修と研究	②日々の実践を見合い検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3.30 (+0.21)	昨年度より乳児部でも園内研修を実施している 乳児部、幼児部の職員が合同で研修しその後振り返りの研修を行うことで教育保育の質を高める努力を行っている	<p>・大変忙しい業務の中で、職務の専門性を高めること、より多くの知識や技能を身につけることは大変なことだと思います。そういうことを個でやっていくには時間も手間もかかるので、集団として互いに学びあう意識を持つことが大切だと感じます。</p> <p>・園と学校の職員で研修を行う機会ができれば大変有難いです。まずは、互いの活動を見合う機会を設けられたらと思います。</p> <p>・沢山の研修を通して職員の方々のスキルアップを目指して欲しいと思います。</p> <p>・ほぼ全ての項目で昨年の評価を上回って評価されます。</p> <p>・職員相互に意見を交換し意識を高めあう事は重要なことです。「毎日の活動が精一杯で研修までは」と思うことなく、自らの力をつけるという想いで知識を高めてください。</p>
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3.52 (+0.31)	職員室での何気ない会話の中で様々なアドバイスがあったり認め合う雰囲気があったりするので助かっている 良い職場だと日々感じている	
	③保育の専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などに関心がある	3.00 (+1.0)	やりたい仕事ができていると思うもつと深くもつと好きになるように様々なことから知識を吸収したうえで他のことにも興味をもって発展していけるようにしたい	
	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	3.31 (+0.15)	本年度も職員が様々な研修に参加したなかでも宿泊を伴うが東海北陸地区私立幼稚園教育研究大会にも毎年2名の職員を派遣し質の向上に努めている	